

2023 年度取締役会実効性評価の結果

当社は、取締役会の実効性を高めるため、アンケートによる自己評価を行い、その結果を集約し、問題・課題についての議論を深めることで、取締役会のさらなる質的向上に向けた体制・運用整備を行います。

2023 年度取締役会実効性評価結果の概要は、次のとおりです。

1. 評価プロセス

全取締役と全監査等委員を対象に、5 評価項目・25 設問にて構成されるアンケートを実施しました。

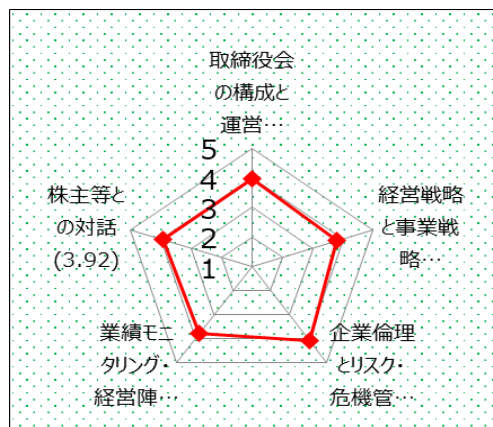
【評価項目】

- (1) 取締役会の構成と運営
- (2) 経営戦略と事業戦略
- (3) 企業倫理とリスク・危機管理
- (4) 業績モニタリングと経営陣の評価
- (5) 株主等との対話

2. 評価結果

(1) 評価結果の概要

「取締役会の実効性は確保されていると評価しました。」



- ① 取締役会の規模・構成について、バランスの取れた多様な人材から構成され、経営に対する監督機能を発揮するための体制が構築されています。
- ② 取締役会において自由闊達な議論が行なわれ、全メンバーによる積極的かつ実質的な議論が行なわれています。
- ③ 社外役員には取締役会の前日までに議題の事前説明を行っており、十分な審議が出来るよう配慮しています。
- ④ 取締役会を原則月 1 回開催し、取締役会規則に基づき、中長期的な企業価値の向上に向けた重要な経営戦略、事業戦略を含む重要案件を適時・適切に審議されています。

⑤ 株主との対話結果が担当部門から適宜取締役会に報告されています。

(2) 今後の改善テーマ

【全体評価を受けた対策】

新任取締役に対して、有益なオリエンテーションやトレーニングを実施する

【個別評価を受けた対策】

経営資源を有効活用して中長期的に資本コストを上回るリターンを上げるために、事業ポートフォリオの見直しや設備投資・人材投資等を戦略的かつ計画的に行っていることについての充実した議論を行う

【重要テーマ評価を受けた対策】

人的資本経営に係る、動的人的ポートフォリオ、ダイバーシティー・エクイティ&インクルージョンなどの充実した議論を行う

【コメント評価を受けた対策】

- PMI の状況や両者の役割分担の明確化など、シナジー効果に関連する効果的な議論を行う
- 企業倫理やリスク等の業務に係る効果的な議論を行う
- 経営に係る重要事項に使う時間のウエイトを増やす

【総合的に検討した対策】

SR 面談を定期的で開催し、市場評価をタイムリーに把握することで経営判断の一助とする

今回の評価結果を踏まえ、継続的に取締役会の実効性向上に努めまいります。